

2016. 11. 27

日本野鳥の会郡山支部

2016年カッコウ調査報告書

郡山市の鳥に指定されている、カッコウの飛来数調査を通し、自然に対する関心を高めようと始めた、本年度のカッコウ調査がまとまりましたのでご報告いたします。

1. 調査日時 2016年6月10日(金) 午前7:00~7:05
(5分間)
2. 調査方法 観察者が上記の時間帯にいた場所でカッコウの声を聞いたかどうかについてアンケートに答える。
3. 調査対象 郡山市内小学校・中学校の児童生徒
日本野鳥の会郡山支部会員
一般市民の協力者

4. アンケート数

	配布アンケート数	回収アンケート数	前年度回収数
小学校	(62校) 4880枚	(54校) 1953枚	(53校) 1972枚
中学校	(29校) 2700枚	(26校) 1729枚	(25校) 1753枚
会員・一般	500枚	556枚	370枚
計	8080枚	4238枚	4095枚

5. アンケート集計結果

	2016年度		(前年度)	
回収アンケートの内有効なもの	4185枚	98.7%	3999枚	97.7%
調査時間内に聴いた	251	6%	201	5%
調査時間外では聴いた	1455	34.8%	1213	30.3%

6. 結果の処理 A 時間内に聴いた場所を地図上に●でプロットする。

ア 市街地 …… 1/1600 郡山市街地図

イ 郡部 …… 1/50000 郡山全図

7. カッコウの個体数の推計方法

プロットされた点のうち、近い点同士は、同一個体の鳴声を複数の観察者が聴いたとも考えられる。そこでカッコウの声の届く範囲を考慮し、次のように決めた、一定の範囲の円を描き、円1つには少なくとも1羽のカッコウ(雄)がいたとみなすことにし、円を描く。

声の届く範囲は環境に大きく左右されるはずで、次の3段階とする。

市街中心部 …… 半径 300m の円

市街部 …… # 400m の円

郊外部 …… # 500m の円

これらの円を描くにあたっては、1つの円に出来るだけ多くの●点を含み、描いた円同士が交叉しないで、尚且つ描く円の数が出来るだけ少なくなるように作図する。

こうして描かれた円内には、最低1羽の雄のカッコウがいるものと推測でき、そのエリア内で縄張り宣言し、雌への求愛をおこない繁殖が行われているものと考えられる。そして地図上の円1つには、1つがい(2羽)のカッコウが生息しているとみなし、生息数を推定した。

8. 2016年度のカッコウの生息数 (末尾資料地図参照)

ア市街地

円の数	(75)	× 2 = 150羽
前年度	(62)	124羽

イ郡部

1/50000 郡山全図使用、

円の数	(14)	× 2 = 28羽
前年度	(7)	14羽

合計 178羽
(前年度 138羽)

9. 本年度の結果について

20年以上に亘って続けてきたこの調査で、カッコウの飛来数はほぼ安定していると考えられたことで、アンケート数(統計処理の母数)を少なくしてもその傾向はつかめるのではないかという判断から、昨年度から調査対象校を小学校、中学校に絞り実施しております。

○分布 円の数

ア市街地	円の数	前年度	イ郡部	円の数	前年度
阿武隈川の東側	15	11	阿武隈川の東	2	1
高速道西側	5	5	熱海地区	1	1
逢瀬川北側	20	17	多田野・三穂田地区	8	3
笹原川南	5	4	湖南地区	3	2
市の中心部	4	4	計	14	7
大槻・安積町	26	21	合計	89	69
計	75	62			

○推定個体数は同じ方法で調査した昨年度と比べ、全体で40羽(円の数で20)増加している。上の表の塗りつぶした地域、いずれも市の周辺部分で増加している。

○調査時間（6月10日7:00～7:05）内に聞いたという確認率、及び調査時間外には聞いたという割合は共に昨年よりは増加した。（資料グラフ参照）

しかし後にまとめているコメントに見られるように、最近カッコウの声を聞かなくなったという声も多く聞かれる。

次ページのグラフ全体を通して見た傾向は、飛来するカッコウの個体数には大きな変化はないと判断すべきものと思われる。

○郡部では都市部に比べ児童生徒の数が少なく、数字に反映されていない可能性も考えられる。

○この調査を通じて、会員はもとより調査に協力してくれた児童生徒、さらに一般市民の方々も、カッコウやツバメに目を向けることで身のまわりの自然への関心を高めていると思われる。（資料のアンケートに寄せられたコメント参照）

○毎年の事ですが、今年度も、アンケート用紙の不足分を校内で増刷りいただく等、積極的に調査に協力下さり感謝申し上げます。

特に郡山市役所生活環境課では、課内で積極的な取り組みをいただき、組織を生かした広範囲のデータを提供していただきました。

10、ツバメの営巣調査について（おまけの調査）

		2016年度		前年度	
今年ツバメを見ましたか？	見た	3128名	74.7%	2975名	74.4%
近くに巣がありますか？	ある	1839	43.9%	1714	42.9%
そのうちツバメが入りしている巣		1571	37.5%	820	20.5%

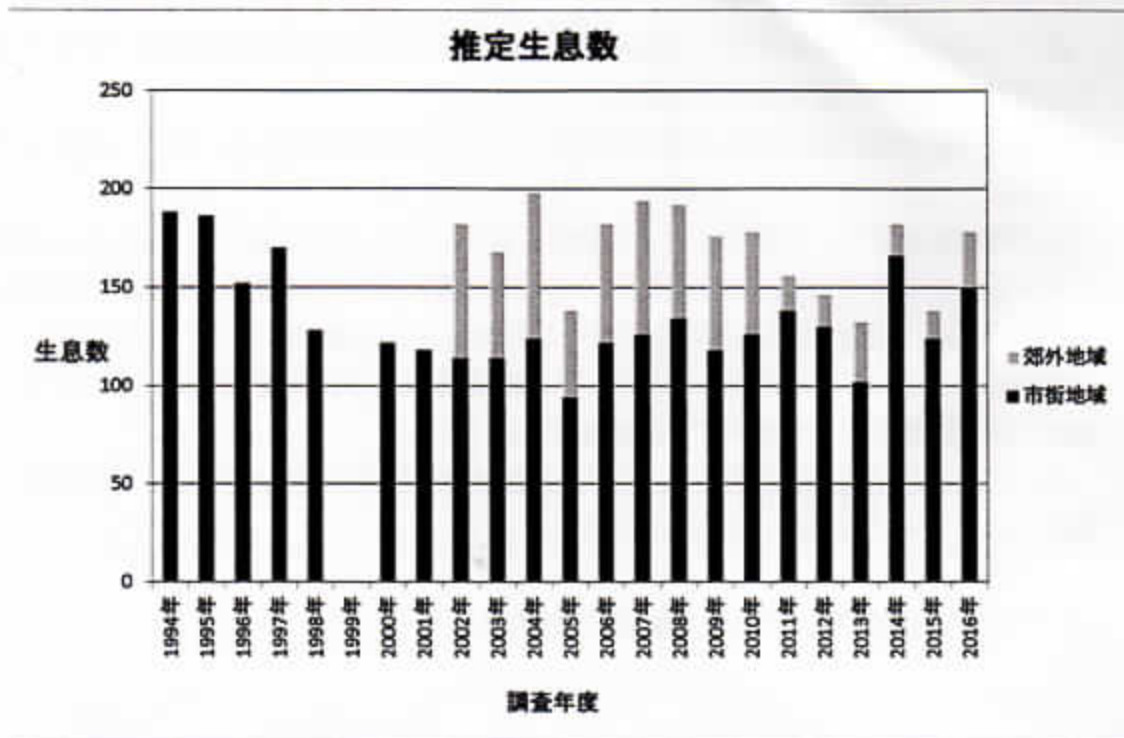
ツバメが入りしていると回答のあった1571名の方々の場所を地図に「ツバメ営巣調査」として資料を末尾に添付しました。

地図上の点1つが、巣1つを示す訳ではなく、同じ巣を多くの観察者がアンケートに回答されていることも考えられますが、カッコウの分布と異なり、市の中心部も含めて全域に分布しており、ツバメの繁殖が街中でも広く行われていることがわかります。

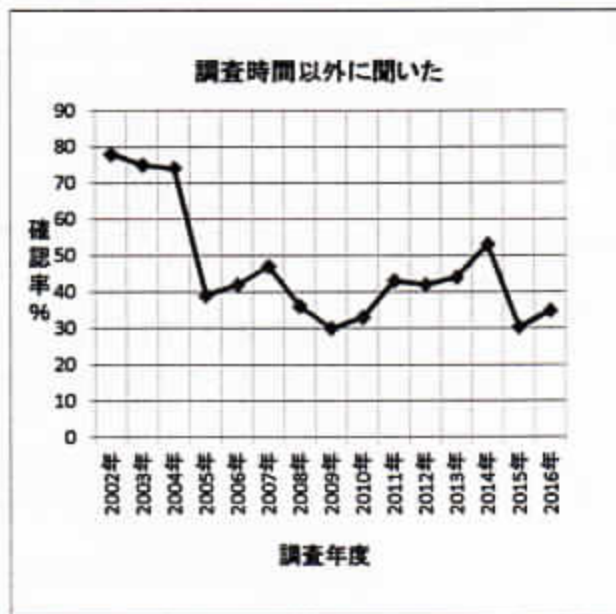
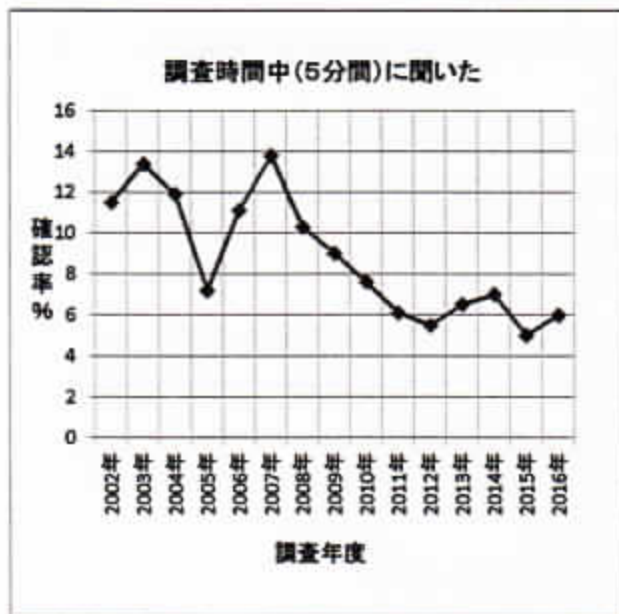
ツバメはカラスや蛇などの天敵から身を守るため、学校や公共施設、商店、人家など、人の暮らしに頼って営巣する場所を決めていることによるものと考えられます。

この調査に関係された皆様に心から感謝申し上げます。

カッコウ飛来数の変化



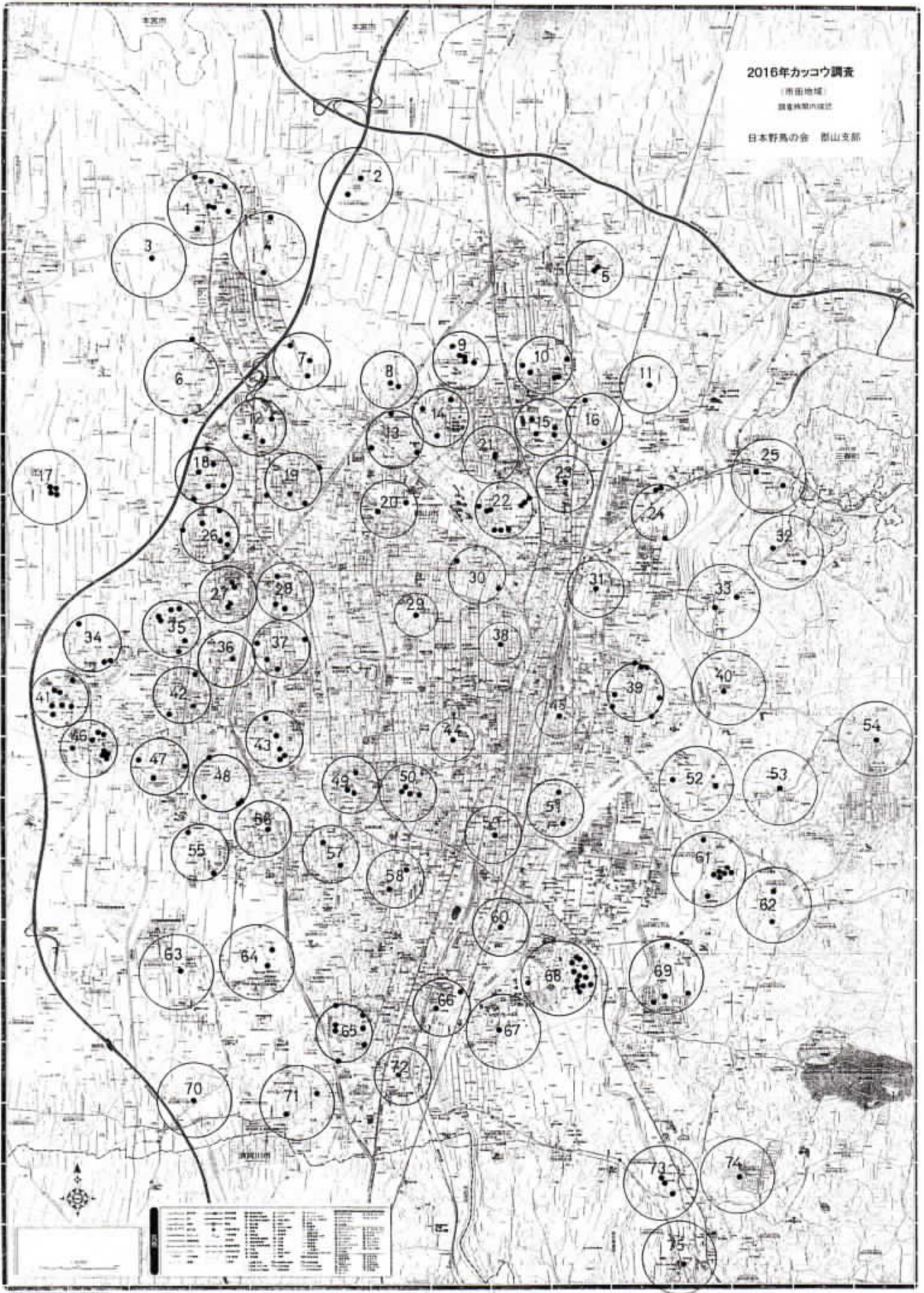
カッコウの鳴き声の確認率



2016年カッコウ調査

市田地域
調査機関内訳記

日本野鳥の会 郡山支部



2016年カゾコウ調査

(資料提供)
農林水産省

日本野鳥の会 郡山支部

調査年度	調査種数	調査個体数
2016年	10	100
2015年	10	100
2014年	10	100
2013年	10	100
2012年	10	100
2011年	10	100
2010年	10	100
2009年	10	100
2008年	10	100
2007年	10	100
2006年	10	100
2005年	10	100
2004年	10	100
2003年	10	100
2002年	10	100
2001年	10	100
2000年	10	100
1999年	10	100
1998年	10	100
1997年	10	100
1996年	10	100
1995年	10	100
1994年	10	100
1993年	10	100
1992年	10	100
1991年	10	100
1990年	10	100
1989年	10	100
1988年	10	100
1987年	10	100
1986年	10	100
1985年	10	100
1984年	10	100
1983年	10	100
1982年	10	100
1981年	10	100
1980年	10	100
1979年	10	100
1978年	10	100
1977年	10	100
1976年	10	100
1975年	10	100
1974年	10	100
1973年	10	100
1972年	10	100
1971年	10	100
1970年	10	100
1969年	10	100
1968年	10	100
1967年	10	100
1966年	10	100
1965年	10	100
1964年	10	100
1963年	10	100
1962年	10	100
1961年	10	100
1960年	10	100
1959年	10	100
1958年	10	100
1957年	10	100
1956年	10	100
1955年	10	100
1954年	10	100
1953年	10	100
1952年	10	100
1951年	10	100
1950年	10	100



調査年度

調査年度



0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000

ツバメ営巣調査

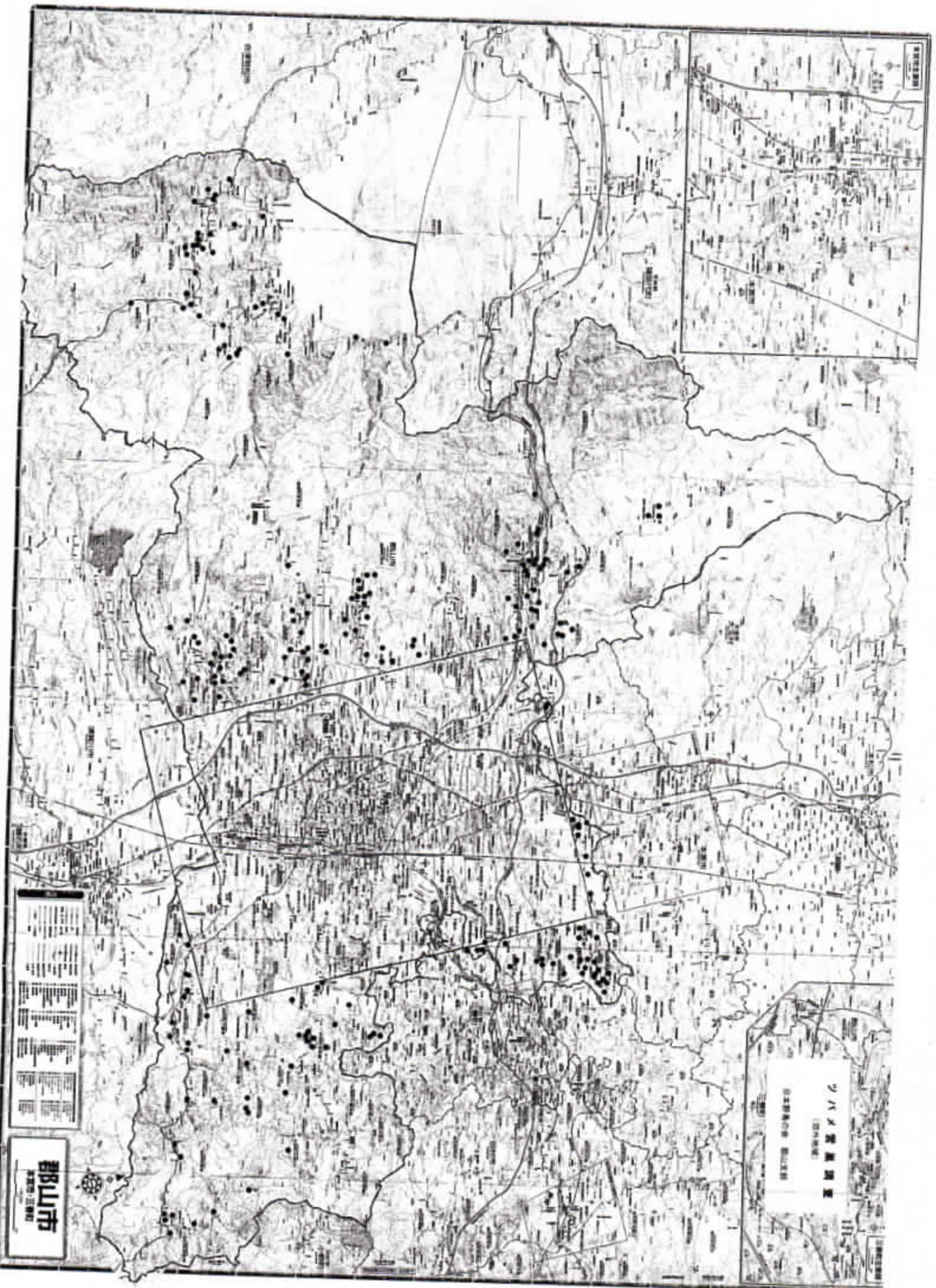
(調査地域)

日本野鳥の会 郡山支部



郡山市主簿部

調査年度	調査月	調査日	調査地	調査者	調査結果
昭和30年	5月	1日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	2日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	3日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	4日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	5日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	6日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	7日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	8日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	9日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	10日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	11日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	12日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	13日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	14日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	15日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	16日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	17日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	18日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	19日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	20日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	21日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	22日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	23日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	24日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	25日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	26日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	27日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	28日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	29日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	30日	郡山市	佐藤 一郎	...
昭和30年	5月	31日	郡山市	佐藤 一郎	...



日本国

宇賀ノ宮遺跡
（国史跡）
日本書紀の宇賀ノ宮

1	国道
2	都道府県道
3	市町村道
4	鉄道
5	河川
6	海岸線
7	境界線
8	境界線
9	境界線
10	境界線
11	境界線
12	境界線
13	境界線
14	境界線
15	境界線
16	境界線
17	境界線
18	境界線
19	境界線
20	境界線
21	境界線
22	境界線
23	境界線
24	境界線
25	境界線
26	境界線
27	境界線
28	境界線
29	境界線
30	境界線
31	境界線
32	境界線
33	境界線
34	境界線
35	境界線
36	境界線
37	境界線
38	境界線
39	境界線
40	境界線
41	境界線
42	境界線
43	境界線
44	境界線
45	境界線
46	境界線
47	境界線
48	境界線
49	境界線
50	境界線

郡山市
YAMAGUCHI

1:50,000

アンケートに寄せられたコメント（抜粋）

カッコウについて

- 調査の日には聞くことが出来ませんでした。6/1朝5:00前に今年声を聞き、しばらくは毎日のように近くで鳴いていました。（亀田2丁目）
- 安積ゴルフパーク脇、笹原川沿いの土手は、以前の通勤経路でした。この日、7:00~7:05 じっとカッコウが鳴くのを待っていましたが、鳴きませんでした。7:07頃、通りかかった朝のウォーキングをしている人に「ここ4~5分間に、カッコウの鳴き声を聞きました？」と尋ねたところ、「聞かなかった」との事でした。「ただ、今の時間帯、この辺ではキジの声を聞きます」との事でした。（安積町）
- 小さな林が宅地化で無くなり、カッコウの声を聞かなくなった。（大槻町）
- 携帯からも情報入力しました、とても便利です。今後カッコウだけでなく、ほかの種についても報告と同時に検索も出来ると、野鳥情報が広がりますね。カッコウは、調査時間外には聞いており、姿も確認しております。（芳賀）
- 阿武隈川の様子が一変してしまい、今年はカッコウは来ないと諦めていました。でも例年どおり来ました。我が家のアンテナのテッペンで「かっこうー」正調カッコウ節が聞こえました。2羽は居るようです。（昭和2丁目）
- 初認 5/1 9AM5:40 （安積町荒井）
- 初認 5/1 0AM9:05 近くの公園 （中野2丁目）
- 6/9 12時頃柴宮公民館付近、 14:30 カワチ柴宮店付近。（安積町）
- 昨年に比べて赤沼向ではカッコウの鳴く時間が早くなりました。現在早い時は朝4時頃より鳴いています。昼間自宅付近のアンテナには来ません。以前はゆっくり姿を見せながら鳴いてくれていたのに、今は通過しながら鳴くのかな？「環境省自然環境局長賞」受賞おめでとうございます。（喜久田町）
- 酒蓋公園内を散歩している方の中に、カッコウの声を聞いたという人がいましたが、昨年に続き今年も姿、声を見聞きしておりません。また池の水面に昨年は多くみられたツバメも今年は数えるくらいです （鶴見垣2丁目）
- 今年初めてカッコウの声を聞いたのは5月20日でした。ちょっと遠かったですが。調査日の3日前の朝近くで聞こえました。（久留米1丁目）
- 自宅のある大槻町南反田で、5月15日の初認日から6月12日まで16回に亘って詳細な観察記録を寄せてくれました。また安積町笹川の方も同じようなデータを送って下さいました。

ツバメについて

○近所の人の話では、今年は犬の散歩中に見かけるツバメの数が少ないように思うとの事でした。
(安積町荒井)

○ベランダにツバメの巣がある。今年は新しく巣をつくったと思たら、納戸の上
に作ったものだから風で巣が飛ばされ、前の巣に出入りしている

(中田町海老根)

○私の家の倉庫の天井には、25年以上前から毎年春になると(3月25日頃か
ら)ツバメが来て沢山の巣に卵を産み、餌を運んで子育てをします。1つの巣
に5~6羽育てて飛んでゆきます。春~夏にかけて何回か繰り返します。ツバ
メも家族と思い、入口の窓を開け、沢山の糞も掃除しながらツバメと同居して
暮らしております。 巣立つて行く時は電線に並んでご挨拶をして飛んでゆ
きます。
(富久山町)

○麓山にお住いのYさんから、4/8~6/12までのツバメの子育て記録が今
年も寄せられました。1部を抜粋して掲載します。

4/24(日) Kさん宅の巣4つともきれいに作られた。

Cの巣、親ツバメ抱卵の形

5/29 Cの巣 餌運び、子4羽(大きな口)親が巣を離れると
子は皆頭を低くして、外から見えない。私がいつまでも見
ていると、親ツバメ私の頭上30cm位まで来て私を威
嚇してくる。

カラス水道局の屋上に5~8羽、うるさいほどです。

6/5 Cの巣、壊され親子の姿なし。他の3つの巣は1番子巣立
った様子です

以下略

○高校生のNさんは、近くのツバメの巣のある場所と巣の様子をイラスト入り
で8か所教えてくれました。

○郡山高校の地学実験室近くの屋根

○堤ビルの1階の屋根についている通気口

○西武ゴルフガーデン近くのパチンコ屋

○堤の木工おもちゃ屋さん隣のつり下げ式ライト

○郡山高校近くのツルハドラグの入り口

以下略



この他多くのコメントを頂きました。ありがとうございました。